

```
% ./target.nosync/release/tickwise -t 9984.T ¥
--macd-minus-ok ¥
--buy-rsi 20 ¥
--macd-diff-low 1 ¥
--bollinger ¥
--bb-bandwidth-squeeze-pct 10 ¥
--stance buyer ¥
--show-news
🔗 --buy-rsi=20.00 を指定 → RSIが20.00以下で買い圏とみなされます
🔗 --macd-diff-low=1.00 を指定 → MACD差が1.00未満ならスコアを中立に補正します
```

■ 銘柄: ソフトバンクグループ (9984.T)
■ 日時: 2025-12-30 16:12 JST
① 現在値 : 4400.00
③ 前日終値: 4485.00
■ 前日比: -85.00 (-1.90%)
※『MACDマイナス許容』設定: 有効 (今回“適用対象”)

基本テクニカル分析 (MACDとRSIによる評価)
□ MACD: -102.1791 / Signal: -155.3724
■ RSI: 50.18
△ MACDがSignalを上回る状態が継続 → 上昇トレンドが維持されている可能性
△ MACDがSignalより大幅に上回っています (+53.19) → 過熱感がある可能性があります
● [基本スコア:+2] MACDが強い上昇トレンド → スコア+2加点
■ スコア調整値(4.0) = スコア(2) × Weight(2.0)

---ボラティリティ系指標---
■ 【ボリンジャーバンド】
上限 4811.72 / 下限 4004.65
%b indicator: 0.49 / 帯幅(Bandwidth): 18.3%
□ 帯幅は設定閾値 10.0% を上回り、スクイーズ未発生
□ 現在価格がバンド内 → 中立
■ スコア調整値(0.0) = スコア(0) × Weight(1.0)

■ 総合スコア: 4.0 (6.0～~6.0)の範囲
トータルスコア (スタンス: Buyer)
→ 判定: ○ 買う 83%
買い 100% [...] 0% 買わない

News query [q-unfiltered]: "ソフトバンクグループ" (count=50, freshness=pm)

```
==== News[9984.T]: 8 件 (最大50件表示) ====
01. ソフトバンクグループ、米投資会社を買収 AIインフラ基盤を強化 (2025-12-30T02:16:51)
    https://asahi.com/articles/ASTDZOFYNTDZULFA001M.html
02. 時価総額4業種でトップ交代 通信はソフトバンクグループが5年ぶり首位 - 日本経済新聞 (2025-12-29T19:00:00)
    https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB035330T01C25A2000000/
03. ソフトバンクグループ、米投資会社デジタルブリッジの買収発表…AI分野の成長加速させる狙い : 読売新聞 (2025-12-29T15:56:00)
    https://yomiuri.co.jp/economy/20251230-GYT1T00037
04. ソフトバンクグループ、次世代AIインフラの拡大に向けDigitalBridgeを企業価値約40億ドルで買収 | ソフトバンクグループ株式会社 (2025-12-29T13:40:03)
    https://group.softbank/news/press/20251229
05. ソフトバンクグループ、2026年元旦に1株→4株の株式分割へ！ ——買やすさ向上と「AIオールイン戦略」が交差する転換点 | STOCK EXPRESS (2025-12-26T07:16:41)
    https://stockexpress.jp/softbankgroup20251226/
06. ソフトバンクグループとソフトバンクを買い推奨 (窪田真之) | トウシル 楽天証券の投資情報メディア (2025-12-23T23:00:00)
    https://media.rakuten-sec.net/articles/-/51079
07. 株主・投資家情報 (IR) | ソフトバンクグループ株式会社 (2025-12-19T00:00:00)
    https://group.softbank/ir
08. 「ビズリーチ」のビジョナル株価6%高 ソフトバンクグループは4%高 (12日の株式市場) - 日本経済新聞 (2025-12-12T07:30:00)
    https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB121IE0S5A211C2000000/
```

==== LLM Response by gpt-5.2 ===

- **テクニカル要点** : 移動平均収束拡散法 (MACD) がマイナス圏 (-102.18) でもシグナル (-155.37) を上回り、下落トレンド一服～反発余地。相対力指数 (RSI) は50.18で過熱でも売ら

れすぎでもない。

- **価格位置**：ボリンジャーバンド下限4004.65～上限4811.72の「帯の中（%b=0.49）」で中立。
- **ニュース要点**：AIインフラ強化（DigitalBridge買収）と株式分割予定は材料。ただし買収は統合・資金面の不確実性も伴う。

1. 投資家が注意すべきポイント（400字以内）

MACDは-102.18とマイナス圏ながらシグナル-155.37を上回り、下落の勢いは弱まりやすい一方、差分+53.19は短期的な行き過ぎ（過熱感）サインにもなり得ます。RSIは50.18で方向感は強くありません。価格はボリンジャーバンド下限4004.65～上限4811.72の中央付近（%b=0.49）で、上にも下にも振れやすい局面。ニュース面ではAIインフラ買収は成長期待と同時に統合リスクもあるため、材料で上振れしても追いかけ買いは分割エントリーが無難です。

2. 1週間の短期目線（200字以内）

MACDがシグナルを上回る状態が続いている、短期は反発余地。ただし差分+53.19は短期過熱のサインにもなり、上げても押し戻される往復に注意。目前はボリンジャーバンドの「帯の中」でレンジ想定が基本。

3. 1ヶ月の中期目線（200字以内）

MACDがマイナス圏でもシグナルを上回るため、下げ止まり→持ち直しの芽はあります。とはいえRSIは中立でトレンド確証は弱く、ボリンジャーバンドもスクイーズではない（帯幅18.3%）ため、1ヶ月は「方向感が出るまで待つ」か「下限寄りを拾う」戦略が現実的。

4. ニュースハイライト（1000字以内）

Tier A（一次性・直接性が高い）

- 1) **ソフトバンクグループ、次世代AIインフラ拡大に向けDigitalBridgeを企業価値約40億ドルで買収（公式リリース）**

- 影響度：**高**

- コメント：買収は事業戦略に直結し、市場の期待・懸念（統合・資金面）双方で株価変動要因。

- 2) **米投資会社を買収、AIインフラ基盤を強化（朝日）**

- 影響度：**中**

- コメント：上記買収の報道。**ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：公式発表の追認で織り込みが進みやすい）**。

- 3) **DigitalBridge買収発表、AI分野の成長加速狙い（読売）**

- 影響度：**中**

- コメント：上記買収の報道。**ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：公式発表の再報で新規性が小さい）**。

Tier B（中：近接性はあるが一次性/新規性が弱い）

- 1) **2026年元旦に1株→4株の株式分割へ（STOCK EXPRESS）**

- 影響度：**中**

- コメント：流動性・投資家層拡大の期待はあるが、企業価値そのものを直接増やす材料ではないため、**ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：需給要因中心で持続性が不確実）**。

- 2) **時価総額トップ交代（日本経済新聞）**

- 影響度：**低**

- コメント：結果報道の性格が強く、**ニュース価値は高いが価格影響は軽微（理由：指標の“結果”であり新規の収益材料ではない）**。

Tier C（参考=価格影響なし、最大3件）

- 「ソフトバンクグループとソフトバンクを買い推奨（トウシル）」：**論評**

- 「IRページ」：**再掲**

- 「ビジョナル株価…（日経）」：**周辺**

5. 総評（2000字以内）

買い物目線では、「下落トレンドの終盤～反発の入口」っぽさはある一方で、現時点は“強い上昇の確証”までは不足、という評価が妥当です。根拠はテクニカルの組み合わせです。MACDは-102.18でマイナス圏ですが、シグナル-155.37を上回っており（今回の「MACDマイナス許容」設定では買いシグナルを認める条件）、売り圧力が弱まりやすい形。一方で差分+53.19は「短期的に勢いが先行しやすい=押し目を作りやすい」警戒もあります。RSIは50.18で中立、ボリンジャーバンドも下限4004.65～上限4811.72の中央付近（%b=0.49）で、トレンドよりレンジの示唆が強いです。

ニュースは、DigitalBridge買収という“戦略直結”の材料がTier Aで入っており、ポジティブに解釈されれば上方向のきっかけになります。ただし買収は統合・投資負担など見えにくい論点も残るため、材料で上げた局面は「飛びつき」より「押しを待つ」姿勢が買い手としては安全です。株式分割も話題性はあるものの、価値そのものの増加ではないため、短期の需給で振れやすい点に留意が必要です。

シナリオA：短期反発（許容できる強気）

- 条件：MACDがシグナルを上回る状態が維持され、価格がボリンジャーバンドの帯の中で底堅い。
- 行動：新規は「一括」より分割で。利確は段階的に（本来は「SMA短期/EMA短期→フィボ50%→一目転換線→一目基準線」ですが、今回それらの水準が提示されていないため具体水準は設定不可）。
- 撤退：ボリンジャーバンド下限4004.65を明確に割り込む動きが出るなら、想定レンジ崩れとして一旦撤退/買い下がり停止を検討。

シナリオB：レンジ～続落（慎重）

- 条件：MACDは上でも、差分+53.19の“過熱感”が先に効いて反落し、帯の下側へ寄る。
- 行動：買うならボリンジャーバンド下限4004.65近辺まで引き付けて小さく試す（ただし割れたら撤退優先）。上方向はBB上限4811.72が目前の上値の目安。
- 撤退：下限割れが定着するなら、トレンド悪化を疑い見送りに戻す。

結論として、総合スコア4.0（買う判定寄り）に沿って「買いを検討する余地はある」が、RSI中立+ボリンジャーバンド中立で“勝ちやすい局面”とは言い切れません。買い手としては、^{**}(1) 分割に入る、(2) 4004.65割れを明確なリスクラインに置く、(3) 材料で上げた局面の追随は避ける**——この3点を守るのが無難です。